令和5年7月21日発行　秋田大学教育文化学部附属特別支援学校

進路だより

vol.04

キャリア教育の実践　中学部編

～憧れの先輩に近づくために～

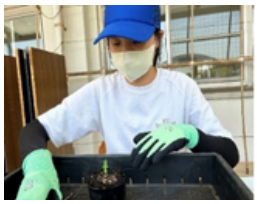
キャリア教育は「子どもたちが夢や憧れをもって、なりたい自分に近づく」ための教育です。

中学部では、今年度の重点事項の一つに、「一人一人のキャリア発達を促す教育活動の充実」を掲げています。具体的には近い将来、高等部に進学したり、卒業して働いたりする姿を自分でしっかりイメージできるようになってほしいと考えます。年度初めには、中学部３年生が中学部１年生に「私の応援計画（ゆめシート）」を紹介する時間を設定しています。６月６日～９日には「終日作業」として、１日いっぱい作業学習に集中する期間を設けました。その後、高等部１年の校内実習の様子を見学したり、中学部３年生は「職場見学」として、高等部の現場実習先を見学したりしました。それぞれの取組を通して、「働くときは、○○に気を付けなければならないんだ」「自分も○○先輩のように働いてみたい」と、一人一人が気付きや憧れの気持ちをもつようになってきました。その気持ちを憧れで終わらせないように、それぞれが目的意識をもち、仲間と協力しながら努力を重ねることで、夢や願いに近づくということを実感させたいと考えています。

（中学部主事　本多）

中３ 職場見学

高１校内実習の見学


終日作業 ファーム班

終日作業 クラフト班

終日作業 ソーイング班

「教えて！校長先生」❸

校長先生は就労支援のエキスパートです。

今回は新しく創設される「就労選択支援」という福祉サービスについて紹介をします。

このサービスは2022年12月に国会で可決し、今後、新たな制度としてスタートすることが決まっています。この就労選択支援サービスは、個々の障害のある方が、自分の社会参加に向けて自らの希望（ニーズ）に気付き、将来に向かって自分に合った訓練等の支援を受けていくために、就労移行支援や就労継続支援（A /B型）などの支援サービスの選択などを支援するサービスです。このサービスの詳細は、今後の議論の中で決まっていくことになっていますが、このサービスの中核には、支援者などとの<u>対話を通じて、進路を自己決定していくことを支える</u>という考え方があります。障害のある方の社会参加を支えるサービスの拡充は大変有益なことです。このような制度が有効に機能するために、学校もまた協力していくことができればと考えています。

（校長　前原）

※「教えて！校長先生」は、vol.6 vol.9 vol.12 でお伝えしていきます。

第22回秋田県障害者技能競技大会の紹介

障害者技能競技大会とは、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施している、障害のある方が日頃職場や学校などで培った技能を競う大会です。職業能力の向上を図るとともに、広く障害者の職業能力に対する社会の理解と認識を深め、その雇用の促進などを図ることを目的としています。

今年度、本校からは高等部２年福田詠依美さん（ビルクリーニング部門）、久米真瞳さん（喫茶サービス部門）が参加しました。２人とも日頃の作業学習や放課後の練習の成果を発揮しました！

（高等部　今井）

保護者からのＱ＆Ａ

保護者からのQ&Aのコーナーでは、保護者の皆様からの進路に関する御質問にお答えしていきます！右のQRコードを読み込み、気軽に御質問ください。